

報 小 叡 黒 沢

11

月号

No. 546

[今月のトピックス]

**黒沢地域民芸能祭・文化展のこれまでとこれから
地域の伝統行事を引き継いでいくためには**

発行：黒沢まちづくりセンター
〒699-3215 浜田市三隅町下古和1518番地
電話：0855-35-1509 FAX：0855-35-1503
E-mail：kurosawa-k@ph-hamada.jp



第1回三隅南小校下民芸能祭「銭太鼓」

今月は今年度開催予定としている「黒沢地域民芸能祭・文化展」に関する特集を組みました。情報収集のため書庫をあさっていると、なんと第1回からの記録写真が出てきたので、表紙に使わせていただきました。

ちなみに第1回は昭和58年2月26日に、第2回は翌年の3月4日に開催されているようで、当時は毎年開催だったことに驚いています。40年前の写真ですが、今もセンターやまちづくりの活動に関わってくれる方がこの中にたくさんいらっしゃることにビックリ！皆さん当時もちろんですが今も変わらずお若いです！（齋）



8, 9, 10区による「餅つき唄」

黒沢地域民芸能祭・文化展のこれまでとこれから 地域の伝統行事を引き継いでいくためには

2年に一度開催している「黒沢地域民芸能祭・文化展」。昭和58年に初めて開催された第1回から、直近では令和5年3月に節目となる第30回を開催しており、長く続く黒沢地区の定番行事となっています。

しかし前回はコロナ禍の中での開催とあって様々な制限が課せられ、これまでの定番であった各自治会単位での舞台発表や地元住民のステージ出演は残念ながらできませんでした。代わりに落語や民謡などを披露する地域外の出演者がステージを賑わせ、地域住民はそれらを観覧して楽しみましたが、「果たしてうちの芸能祭はこれでよかったのか」という思いを抱いた人も少なくなかったのではないのでしょうか。



こうした地域の文化祭的なイベントは多くのまちづくりセンターで同様に開催されており、その趣旨は主にサークル活動の発表や作品展の展示など「地域住民の日頃の学びの成果発表の場」という位置付けで開催されるものがほとんどです。

しかし黒沢は年々とサークル活動が減り、成果を披露するもの自体が少ない状況です。また黒沢の芸能祭は自治会単位の出演が定番となっていることが特色と言えますが、「今後は自治会で出演するのは難しい」という声もちらほら届いています。

これまでのように地域内だけでプログラムをつくりあげるのは難しい状況の中で、今後の芸能祭をどのようにしていくのか、そのあり方を改めて地域全体で考える時が来ているのかもしれない。



黒沢ヤングミーティングで子育て世代が集結 南小太鼓の継承も今後の議論に？

10月11日(金)、齋藤センター長の肝いり企画「黒沢ヤングミーティング(仮)」を開催し、黒沢地区の子育て世代を中心に7世帯が集まり、鍋やオードブルなどをつつきながら特段のテーマもなく自由におしゃべりをしました。この活動に大きな意図はなく、なかなか黒沢地区に暮らしながら関わるのが少なかった同世代のつながりを少しでも深めることができればと思い企画したのですが、なぜか最後には体育館で「南小太鼓」のプチ演奏会に発展するなど大人も子どもも大盛り上がりの一夜となりました。



かつては芸能祭の華であった伝統の南小太鼓。こうした文化の保存・継承も芸能祭の重要な役割と考えると、若い世代がこのイベントにどのように関わっていくとよいのか、今後定期的な開催するヤングミーティングでも議論してみる必要がありそうです。

センター 事業

子ども達のはしゃぎ声がセンターに響き渡る！「黒沢で遊ぼう！パートⅡ」を開催

10月7日(月)、三隅町内児童を対象とした体験学習イベント「黒沢で遊ぼう！パートⅡ」を開催し、小学生27名が参加しました。7月に開催した第1回はすぐに予約が埋まった人気企画。この日は運動会の振替休日で、前回同様申し込みが殺到しました。午前にはビデオ鑑賞による人権学習を行った後、昼食の餃子づくりに挑戦。調理には和田アミユさんと漬田房子さんにご協力いただき、お二人に作ってもらった餃子のあんを皮に包む作業を子ども達が担当しました。おうちで餃子作りを経験している参加者も多く、てきぱきとあんを包んでいる姿が印象的でした。



昼食を終えて午後からは体育館に移動し、「宝あつめ鬼ごっこ」というチーム対抗の鬼ごっこゲームに挑戦。この春に岡見まちセンに転勤となった河野晋哉主事が講師として久々に来館し、ルールの説明や審判をしてくださいました。3チームそれぞれが6年生を中心に作戦を練り、勝利目指して一致団結。どの試合も白熱した展開に、体育館は大盛り上がりでした。参加者からは「また黒沢で遊びたい」「次はカレーライスが作りたい」といった声。また近いうちに子どもが黒沢に集う企画を考えます！

交通 安全

秋の全国交通安全運動にあわせ カーブミラーを清掃【10/6(日)】

安全安心部会が毎年実施しているカーブミラー清掃を行い、町内のカーブミラーがきれいになりました。



産業 振興

お米「いいね、黒沢。」を出身者に 梱包・発送作業を実施【10/6(日)】

産業振興部会は、9月下旬から定期的にお米「いいね、黒沢。」の袋詰め作業を行っています。この日は黒沢出身者の皆さんから注文があった商品の梱包・発送作業を実施しました。今年はコメ不足の影響で例年以上の注文が入っており、部員全員出席で作業にあたっています。



センター 事業

やれんねシアター『ボブという名の猫』上映会 感想の共有も行いました【10/1(火)】

社会医療法人清和会が10月10日の世界メンタルヘルスデーに合わせて企画している「やれんねシアター」を黒沢まちづくりセンターで開催し、23名が参加しました。『ボブという名の猫』という映画を鑑賞し、鑑賞後は小グループに分かれて映画の感想や映画を通して学んだこと、気づいたことなどを話し合い、みんなで共有しました。



11月1日は「しまね教育の日」です。これは、未来を託す子ども達への教育を、家庭・地域・学校・行政が手を携えて推進することを目的として、島根県が平成14年に制定したものです。

月	火	水	木	金	土	日
ちい助弁当・福祉弁当 2日前の正午までにご注文ください 600円 (10個以上の注文は1週間前まで) (おかずのみ 500円) ☎35-1509 (黒沢まちづくりセンター)				1 しまね教育の日	2 8:30 トロロアオイ収穫	3 文化の日 職員不在日
4 振替休日 職員不在日	5 13:30 終活セミナー わら細工クラブ	6 パソコンクラブ すずめの会 ちい助弁当 福祉弁当	7	8 18:30 山崎ていじ さんを応援する会	9 10:00 みすみ フェスティバル出店 職員不在日	10 職員不在日
11	12 わら細工クラブ	13 パソコンクラブ すずめの会 ちい助弁当 福祉弁当	14	15 はつらつ健康教室 紅葉狩り旅行	16 人権を考える集 い 職員不在日	17 9:00 六地藏道整備 職員不在日
18	19 わら細工クラブ	20 パソコンクラブ すずめの会 ちい助弁当 福祉弁当	21	22 はつらつ健康教室	23 労働感謝の日 職員不在日	24 9:30 六地藏道ウォーク 職員不在日
25	26 わら細工クラブ	27 パソコンクラブ すずめの会 ちい助弁当 福祉弁当	28 15:30 ラブック号 	29 9:30 はつらつ マーケット 	30 職員不在日	

イベント情報

5 (月) **終活のおススメ パート1**
 — 自分らしい未来を考えよう —
13:30 ~ 15:00 小ホール

身の回りの整理や介護・医療のこと、葬儀や相続のことなど、人生の最期を心穏やかに迎えるための【終活】について考えてみませんか。

[講師] 横田欽市さん (遺品整理士)
 [参加費] 無料
 [申込] 不要

8 (金) **山崎ていじさんを応援する会**
18:30 ~ 20:30 小ホール

三隅町出身の演歌スターが今年も黒沢に凱旋します。美味しい食事とともに、歌やおしゃべりでていじさんを囲んで楽しいひとときを過ごしましょう。

[会費] 1,000円(食事代)
 [定員] 30名程度 (上限に達し次第受付終了)
 [申込] 電話で受け付けます (☎35-1509)

24 (日) **黒沢の秋 六地藏道ウォーク**
9:00 ~ 12:00 センター出発

かつての生活道だった山道とその道中にある六地藏を通る約2時間のウォーキング。歩くのが難しい方は小ホールで軽運動を行います。同時にプチマーケットも開催!

[参加費] 200円
 [申込] 11月15日(金)までにお電話ください
 ※ 詳しくはチラシをご覧ください

29 (金) **黒沢はつらつマーケット**
9:30 ~ 11:30 小ホール

楽しい体操のあとはのんびりお買い物! グリーンコープ やきとり紘 ヤクルト ほか

9:30~ 介護予防体操
 10:30~ マーケット
 ※ センターまでの送迎を行います(無料)。事前にお電話ください。

